

国際政治

131

「民主化」以後のラテンアメリカ政治

日本国際政治学会編

序論 「民主化」以後のラテンアメリカ政治	大串 和雄
メキシコPRI体制の「静かな移行」と政治社会の再編	岸川 毅
プラン・コロンビアとコロンビアの民主主義	二村 久則
ウルグアイにおける軍部人権侵害をめぐる政治力学	内田 みどり
ラテンアメリカ、特にアルゼンチンにおける 「ネオポピュリズム」に関する一考察	出岡 直也
ペルーの下層の人々にとって民主主義の持つ意味	村上 勇介
コロンビアにおける脱二大政党主義の動き	幡谷 則子
<hr/>	
日本の防衛産業の特質	久保田 ゆかり
対日講和条約と韓国参加問題	金 民樹
<hr/>	
<書評>	
宮城大蔵著 『バンドン会議と日本のアジア復帰 ——アメリカとアジアの狭間で』	木畑 洋一
陳肇斌著 『戦後日本の中国政策——1950年代東アジア国際政治の文脈』	添谷 芳秀
田所昌幸著 『「アメリカ」を超えたドル』	古城 佳子

2002年11月刊